

一般社団法人地理情報システム学会第 38 回理事会 議事録

開催日時： 平成 27 年 1 月 10 日 14 時 00 分～16 時 00 分

開催場所： 学会センタービル B1F 会議室

出席者： 理事：矢野、玉川、太田、奥貫、大佛、巖、山本
監事：浅見

欠席者： 理事：大場、小荒井、小口
監事：吉川

配付資料： 20150110_第 38 回理事会資料

議事

・開会

定刻 14 時 00 分に、矢野会長が議長を務め開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が適法に成立した旨を告げた。

総理事 10 名

出席理事数 7 名

・報告 1 職務執行状況について

- ・ 企画・渉外に関して、小荒井担当理事が欠席のため、巖事務局長が代理で活動、G 空間 EXPO での学会主催シンポジウムを報告した。渉外委員会小口委員長から地球惑星科学連合で 2 つの企画セッションを申請したと報告した。
- ・ 玉川財務担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。年次大会全体の収支としては黒字、懇親会に限定した収支はやや赤字だった。
- ・ 奥貫編集担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。「GIS-理論と応用」Vol.22-2 に大会優秀賞とポスターセッション賞の要旨（12 名全員）を組み入れて刊行した。次年度以降も継続するとした。「GIS-理論と応用」に特集を組んではどうかとの意見があった。引き続き検討するとした。
- ・ 太田資格担当理事から資料に基づき GISCA に関する職務報告がなされた。また教育認定の状況は説明された。
- ・ 山本支部・分科会担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。次年度学術大会時に理事・委員長・支部長懇談会を開催することにした。若手・女性研究者がリーダーシップを取れる分科会を設立する提案があった。準備できしだい設置とした。
- ・ 大場大会担当理事が欠席のため、事務局長巖から代理で報告した。今大会では非会員の発表者が多かった。第 24 回大会は慶應義塾大学三田キャンパスで開催。第 25 回大会は立正大学熊谷キャンパスで開催予定。25 周年記念行事との兼ね合いについて引き続き検討するとした。大会中にトラブルを起こした会員について事務局長から事情を聞きたい旨のメールを送った。

- ・ KAGIS との共催による国際シンポジウムのやり方に関して矢野会長から第 23 回大会中、KAGIS との懇談結果に関する報告があった。学会代表者によるキーノートへの謝礼は双方に無くすこと。KAGIS 主催の年でも GISA 会員にも国際シンポジウムへの参加を呼びかける。その支援のため、IGU からの寄付金を活用して若手に援助する「若手海外派遣スカラーシップ」とし、学生会員に隔年 3 名×3 万円で実施する。
 - ・ 名誉会員を退任する願いが一件あった。終身制度なので退任という制度はない。学会誌・ニュースレターは送らないとし、学会誌・Web に氏名は掲載したままとする。本人の理解を取ることとする。
- ・ 報告 2 入退会会員リスト
事務局より資料に基づき報告がなされた。

審議事項

第一号議案 厳事務局長から 2015 年度事業計画（案）を説明した。各項目について議論した。議論を踏まえて次回理事会で継続審議とした。

- ・ その他
 - ・ 矢野会長より 25 周年記念準備委員会設置する提案があった。委員会のメンバー、事業の内容、記念行事の準備などについて議論した。詳細について次回理事会で引き続き審議することにした。
- ・ 閉会
予定されていた議事をすべて終了し、議長が 16 時 00 分に本理事会の閉会を宣した。

出席理事および監事

理事	矢野 桂司
理事	玉川 英則
理事	太田 守重
理事	奥貫 圭一
理事	大佛 俊泰
理事	厳 網林
理事	山本 佳世子
監事	浅見 泰司

以上の決議を明確にするため、厳事務局長が本議事録を作成し、議長及び出席理事全員が記名押印する。

平成 27 年 1 月 10 日

一般社団法人地理情報システム学会

理事 矢野 桂司

理事	玉川 英則
理事	太田 守重
理事	大場 享
理事	奥貫 圭一
理事	大佛 俊泰
理事	巖 網林
理事	小荒井 衛
理事	山本 佳世子
監事	浅見 泰司
監事	吉川 眞